

## 2012年度（平成24年度）苫小牧市温室効果ガス排出量

平成28年1月  
苫小牧市環境衛生部環境保全課

### 1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>換算）は2,939千トンとなり、基準年比18.2%の増加となりました。

部門別では、産業部門で基準年比0.2%の減少、業務部門で64.3%の増加、家庭部門で66.6%の増加、廃棄物部門で17.2%の増加となりました。

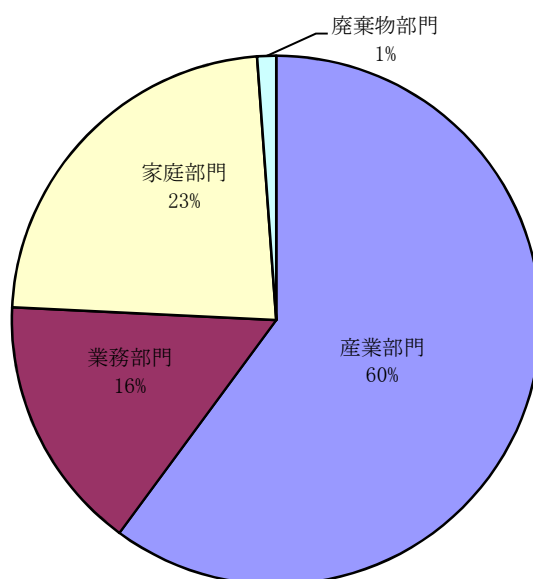
増加の要因は、産業活動の活発化、業務系建物床面積の増加、核家族化による世帯数の増加、自動車保有台数の増加、プラスチック類の焼却量の増加などが考えられます。

(単位：千t - CO<sub>2</sub>)

	1990年度 (基準値)	2010年度	2011年度	2012年度	2012年度	
					基準年比	前年比
合計	2,486	2,329	2,589	2,939	18.2%	13.5%
産業部門	1,770	1,395	1,552	1,766	-0.2%	13.8%
業務部門	280	337	400	460	64.3%	15.0%
家庭部門	407	554	598	678	66.6%	13.4%
廃棄物部門	29	43	39	34	17.2%	-12.8%

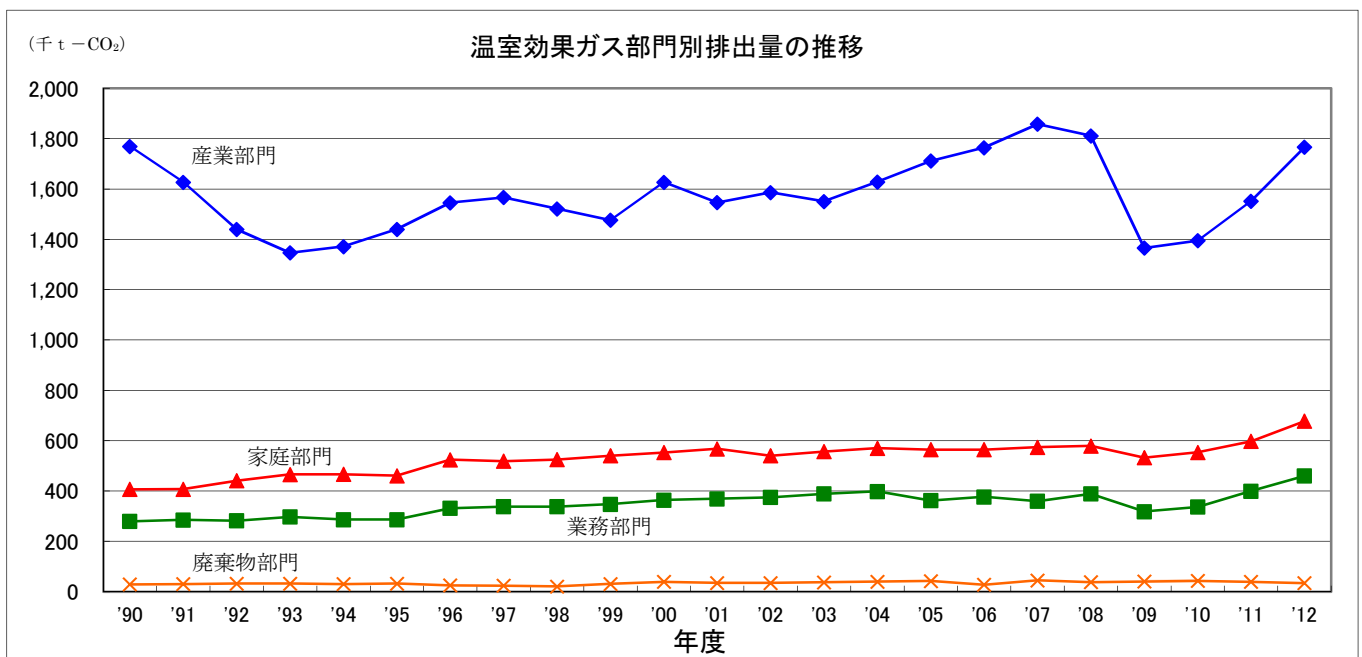
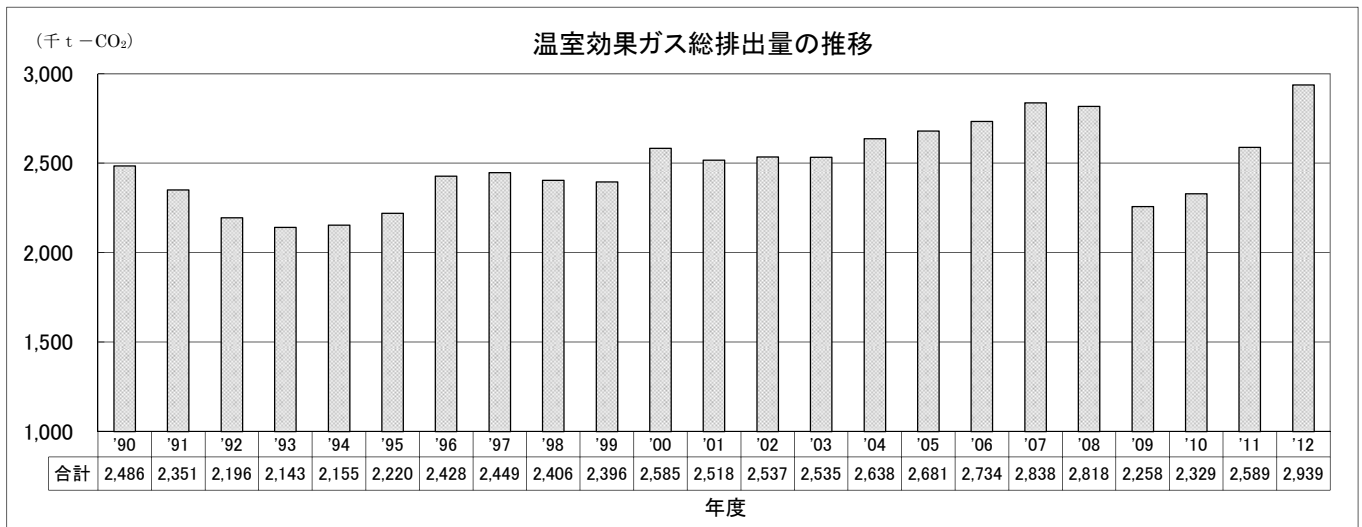
※ 排出量は、各種統計データを基に算定していますが、公開時期の関係で、一部のデータは推計値等を使用しています。今後、各種統計データの修正、算定方法の見直し等があった場合は、排出量は変更されることがあります。

部門別の割合（2012年度）



## 2 経年変化について

1990年度から2012年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



## 3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2012年度
産業部門	総排出量 -15.0%	-0.2%
業務部門	床面積1m <sup>2</sup> 当たり排出量 -12.0%	2.7%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	19.0%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	-16.0%